

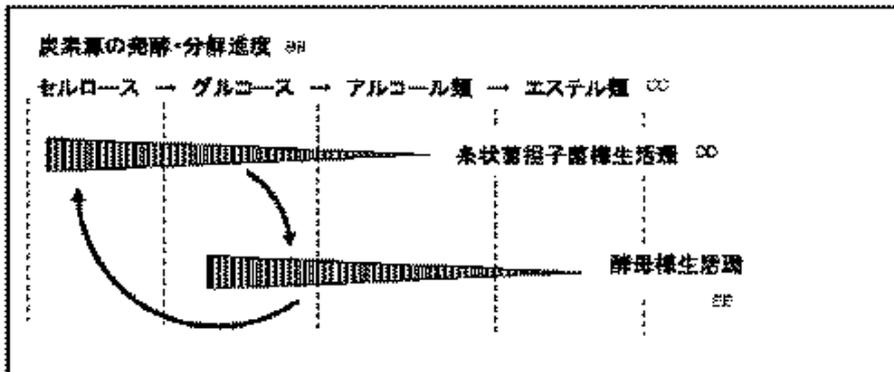
エネルギー

容易で回収コストが小さいバイオガス製造方法

| | | | |
|---------|----------------|------|-------------|
| 発明の名称 | バイオガス製造方法および装置 | | |
| 出願人/権利人 | 株式会社ヨネクニ | 発明者 | 米澤 栄城 |
| 出願日 | 平成28年4月19日 | 出願番号 | 2018-512683 |
| 公開番号 | WO17/183110 | 特許番号 | - |
| 法的状態 | 出願中 | | |

代表図

Wickerhamomyces 属に属する不完全菌の生活史とその遷移 AA



- AA Life cycle of imperfect fungus of genus Wickerhamomyces and change thereof
 BB Fermentation/degradation process of carbon source
 CC Cellulose → glucose → alcohols → esters
 DE Filamentous fungus-like microorganism life cycle
 EE Yeast-like life cycle

発明の概要

樹木、竹等の植物バイオマスからバイオガスを発生させて固相から気相にて回収する方法

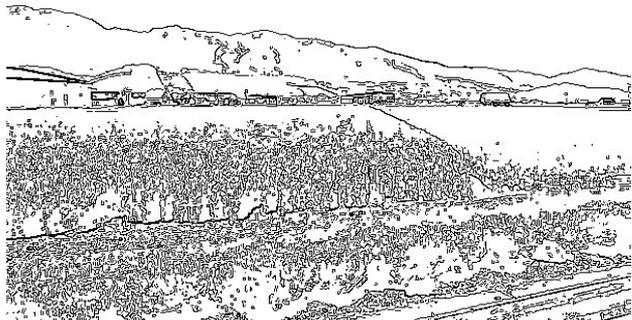
特徴

従来のバイオマス資源を原料としてエタノールを生産する酸加水分解法、酵素糖化法は容易ではなくコストがかかり、物理的・化学的処理にエネルギーを必要とするものである。本発明は、炭素源にWickerhamomyces属に属する不完全菌を播種し、培養条件を制御して、セルロースからグルコースを生成する工程と、グルコースからエタノールなどのバイオガスを生成する工程を繰り返す行い、バイオガスを発生させる。固相の炭素源から直接気相のバイオガスを回収できるため、成分の回収コストが小さくて済む。樹木、草木、竹、稲藁などのバイオマス処理に適用することができる。

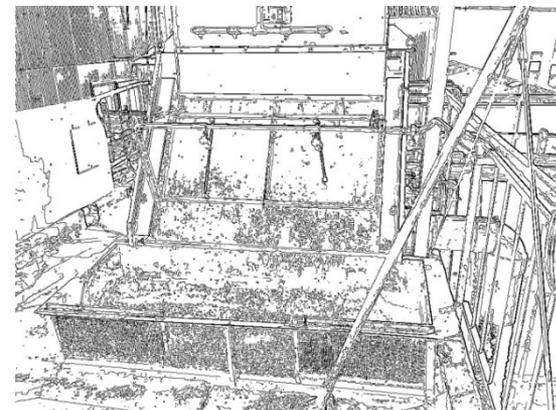
関連分野

農林水産、業務用機械、電気機械、廃棄物処理、建設・土木

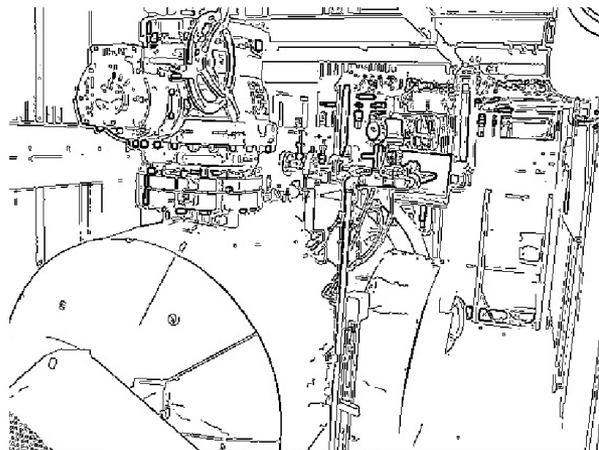
応用の可能性



農場



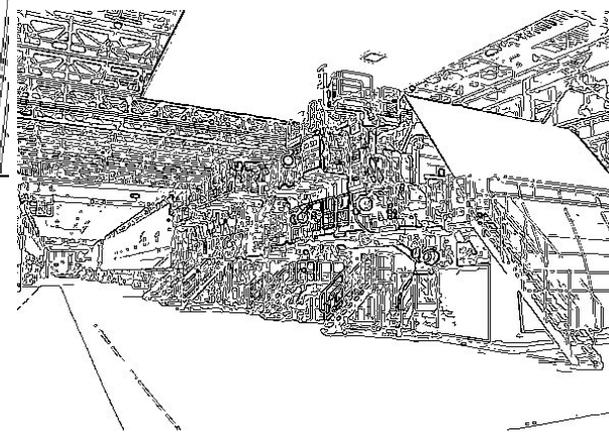
食品工場



バイオマス装置



竹林



製紙工場

など

応用の可能性

- ・バイオマス装置
- ・農場
- ・竹林
- ・食品工場
- ・製紙工場
- など

本技術の活用が見込める企業の一例

- ・株式会社アクアス
- ・ヤンマーHD株式会社
- ・SBエナジー株式会社
- ・日本自然エネルギー株式会社
- ・株式会社大原鉄工所
- ・王子ホールディングス株式会社
- ・日本製紙株式会社
- ・レンゴー株式会社
- ・大王製紙株式会社
- など

株式会社ヨネクニの当発明に関する最新動向

- ・同社のホームページ(<http://www.yonekuni.com/>)には本願に関連する情報の掲載は見られず、目立った動きも見受けられない。